

鹿児島大学病院広報誌

だより

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部

16号
2010.1

【診療科・部門紹介】

▶▶ 肝疾患相談センター

▶▶ 冠・ブリッジ科

●薬剤部からワンポイントアドバイス

●歯科外来ご案内図

●鹿大病院を支える若い力

●**病院再開発** 手術跡地改修工事が始まります

●錦江湾魚ごよみ

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 誰でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。

〈患者さんの責務〉

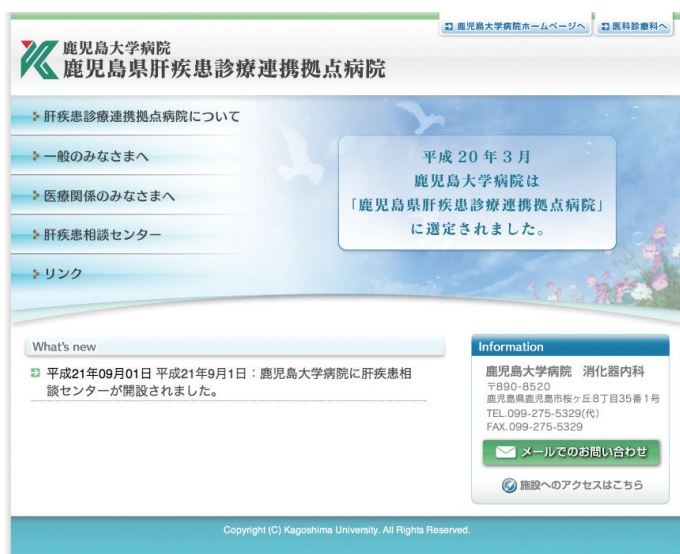
1. 医療従事者が最善かつ適切な診療を行うために、自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に伝える責務があります。
2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするために、院内の医療の妨げとならないように協力する責務があります。

B型およびC型肝炎ウイルス感染者のための相談窓口 肝疾患相談センター

厚生労働省による肝炎対策事業の一つとして、鹿児島大学病院は現在「鹿児島県肝疾患診療連携拠点病院」に選定されています。この度、この事業の一つとして、昨年9月1日より鹿児島大学病院内に「肝疾患相談センター」が開設されました。

B型およびC型肝炎ウイルス感染者は、現在220万人から340万人程度存在すると推定されており、「肝疾患相談センター」はこのような方々の相談窓口としての役割を担っています。また、専門医療機関やかかりつけ医療機関との病診連携などの医療体制の拡充や、肝疾患についての研究・診断・治療に関する最新の情報収集および発信、さらに市民公開講座や医療従事者向け講習会を開催し、B型およびC型肝炎ウイルスによる肝疾患の正しい知識の普及活動も行っており、このような活動は、ウイルス性肝炎患者様の早期発見や早期治療にも貢献できると考えられます。

「肝疾患相談センター」の開設に際し、鹿児島大学病院ホームページからアクセス可能な「肝疾患相談センター」のホームページも作成しました。ホームページでは患者様への情報提供だけでなく、日常診療に携わる先生方に対しても鹿児島大学病院で行なっているウイルス肝炎、それに伴う肝硬変や肝がんに対する最新の治療法などの情報についても随時お知らせしていく予定です。是非アクセスしてみてください。



[ホームページURL]

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~kanennet/>

●肝疾患相談センター開設記念● 鹿児島県肝疾患診療連携 ネットワーク講演会開催のご案内

日時 平成22年3月14日(日)
15時～17時

会場 鹿児島県医師会館
4階 大ホール

対象 医師およびコメディカルの方を
対象とします。

一般の方へ

Q. どんな場合に利用できますか？

健康診断などで肝機能の異常を指摘された方、B型・C型肝炎などの慢性肝疾患でお悩みの方、肝臓ガンの検査や治療についてのご相談にお答えいたします。

Q. 相談方法は？

まず、電話でご相談ください。
ご相談内容によっては当院以外の「鹿児島県肝疾患専門医療機関」もしくは「かかりつけ医療機関」の受診をお勧めすることがあります。

Q. 連絡先は？

TEL・FAX 099-275-5329

9:00～16:00 土・日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

かみ合わせ・発音・
審美的機能の回復

冠・ブリッジ科

当科は厚生労働省認定の高度先進医療である接着ブリッジによる、痛くない治療を行います。

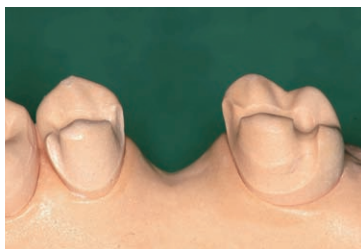
従来のブリッジは、歯の欠けたところの両側の健全歯を麻酔下で、大量に削らなくてはなりませんでした。接着技術を駆使して麻酔することなく、歯の最表層のエナメル質をできるだけ保存し、歯質の削除量を最小にすることで、疼痛からくる患者さんの恐怖心を無くし、かつ、審美的に優れた接着ブリッジを装着いたします。

健康な口腔機能を取り戻すために、積極的にインプラント、審美歯科の最新技術を導入しています。

また、かみ合わせ不良に起因した顎関節症の治療も専門の担当医が行います。

入れ歯やかみ合わせ、発音・審美的原因でお悩みの方は気軽にご相談ください。

<初診受付> 奇数日(9:00~16:30) TEL 099-275-6600



模型



臼歯接着ブリッジ



前歯

！ 薬剤部から
ワンポイントアドバイス

医薬品副作用被害救済制度について

医薬品(=お薬)は今日医療上必要不可欠なものとして、国民の生命や健康を守り、維持するために大きく貢献しています。お薬を使用するためには、その有効性と安全性が確保されなければなりません。お薬は有効性と安全性のバランスの上に成り立っており、どんなお薬でも、また、お薬の使用に当たってどんなに注意を払っても、副作用の発生を完全に防ぐことは難しいことです。

医薬品副作用被害救済制度は、お薬を正しく使ったにもかかわらず発生した副作用によって生じた健康被害に対して、さまざまな救済方法で、すみやかに被害者を救済する公的な制度です。

お薬を正しく使用したにもかかわらず発生した副作用によって、入院を必要とする、あるいは日常生活にかなりの制限を受けるような病気や障害、さらには死亡等が救済の対象となります。

また、ここでいうお薬とは厚生労働大臣の許可を受けたお薬であって、病院・診療所で投薬された、あるいは薬局等で購入したお薬(ご自分で購入した大衆薬も含む)のいずれでも救済の対象となります。

一方、注意しなければならないのは、お薬の副作用によるすべての健康被害を対象としているのではなく、救済の対象とならない場合もあるということです。お薬の不正な使用、法定予防接種、がんなど特殊な病気への使用が目的のお薬(抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤など)などは対象とはなりません。

この制度に関するご質問等がありましたら、薬剤部待合室横のお薬相談室でお尋ねいただくか、本救済制度のホームページ<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai/help.html>でご確認ください。0120-149-931(フリーダイヤル)もあります。

なお、類似の制度に、血液製剤などの生物由来製品による感染の救済や血液凝固因子製剤によるC型肝炎の救済などもありますので、医薬品医療機器総合機構の健康被害救済制度のホームページをご覧ください。

<http://www.pmda.go.jp/operations/higaikyusai/info.html>





研修医 春松敏夫

＊「研修医」とは？

6年間の医学教育を受けて医師国家試験に合格した医師には、2年以上の臨床研修が義務づけられています。その研修期間中にある医師を「研修医」と呼び、鹿大病院では現在、48名の研修医が各診療科を回り、臨床経験を積んでいます。



患者さんの診察風景

専門的に学べるのが鹿大病院の良さ

鹿大を卒業後、研修医として鹿児島大学病院で卒後臨床研修プログラム「桜島」を受け、9カ月が経ちます。元々、人と密に接することのできる仕事に就きたいと思っていました。自分が一所懸命に取り組んだ結果、患者さんが回復し、患者さんの姿から自分も学び、元気づけられる。そんな医師の仕事にやりがいや充実感を感じています。

大学病院には、一般的に治療の難しい病気の患者さんが来院されるため、専門的な視点で診察・治療を進めていくための「考え方」を学ぶことができます。他の病院で一般的な病気 (common disease) を数多く診る経験も大事ですが、鹿大病院ならじっくりと腰を据えて専門的に掘り下げた勉強ができるのではと考え、研修先を選びました。

一人ひとりの研修医に目の行き届く指導

研修医となつてからは数カ月単位でICU、小児外科、循環器内科を経験し、現在は皮膚科で勉強をしています。各科では問診や診察、採血、手術前後の患者さんの管理など、できる範囲の仕事はどんどん任せられ、十分な経験を積むことができます。できない部分については先生方が段階を踏んで流れを見せてくださるため、目の行き届いた丁寧な指導を受けられるという実感がありました。私の取っている研修コースでは、来年の秋に東京の聖路加国際病院での研修が予定されています。そこで自分がどれだけ成長しているかを試したいと考えており、その研修を当面の目標にしています。現場では教科書通りにいかないこともあり、まだまだ勉強が足りないと感じる毎日ですが、モチベーションを保ちながら学ぶことができ、とても満足しています。

TOPIC

病院

再開発

現在の建物は築後30年以上が経過しているため、病院内施設の充実、患者さんの療養環境改善を目的に、平成19年度から10年間で建物の増築・改修を行います。期間中、ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

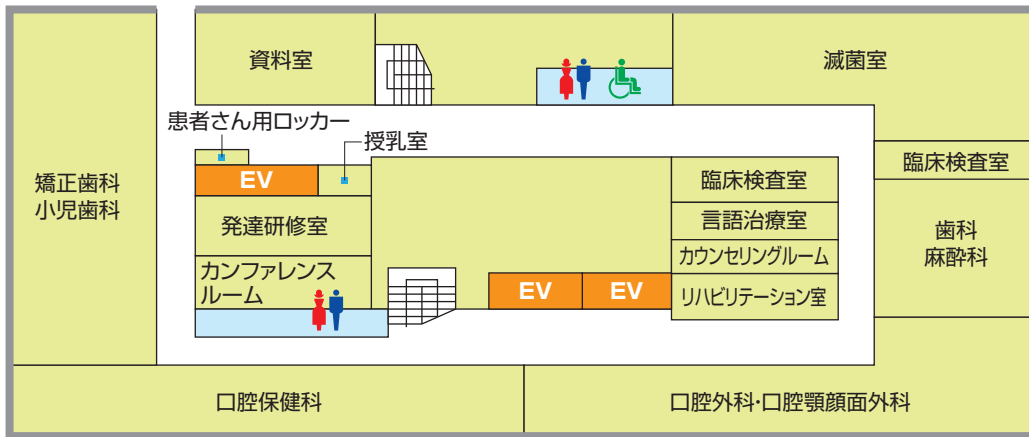
手術部跡地改修工事が始まります

平成21年10月中央診療棟に新しい手術室が整備稼働したことにより、これまで約35年間にわたり診療を行ってきた手術室の跡地改修工事が平成22年1月から始まります。平成22年12月には、手術部受付、エントランスホール、日帰り手術室2室、MEセンター等が整備され、昨年、中央診療棟に完成した16室と合わせて手術室総数18の新しい手術部に生まれ変わります。エントランスホールからは雄大な桜島と錦江湾を眺めることができ、また大きな絵画が飾られ患者さんや家族の癒しの空間となる予定です。

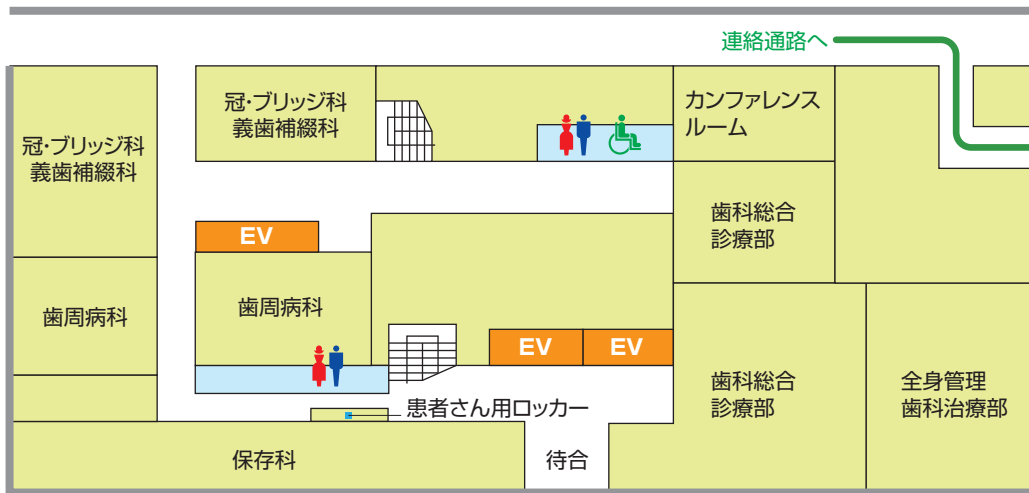


エントランスホール予定地からの眺望

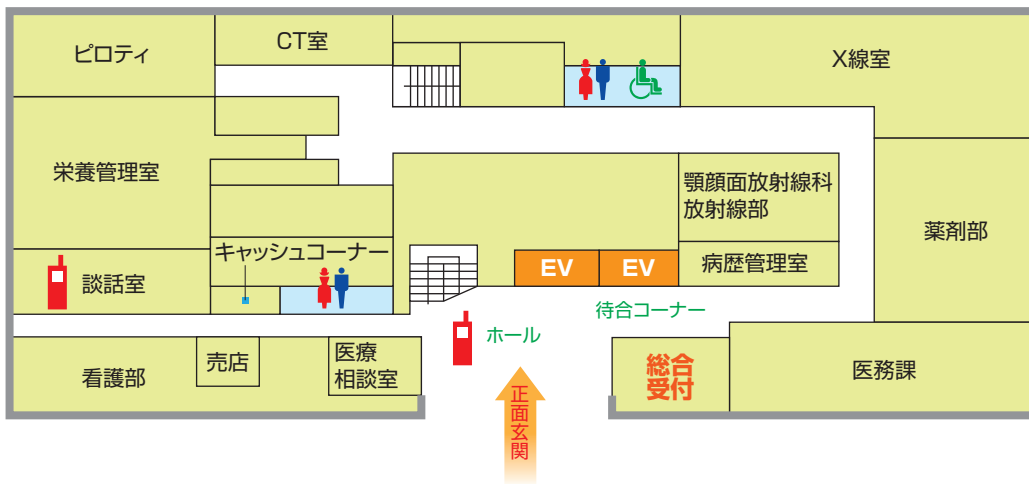
歯科外来ご案内図



- 携帯電話を使用できるエリア
- エレベーター
- 階段
- トイレ



2階の連絡通路を利用して医科診療棟へ行くことができます。



歯科総合受付



歯科診療棟

冬季開業、海底のクリニック

北西の風が吹く日が多くなり、風波を切って桜島にボートを走らせます。こんな冬の日、桜島の南側に向かいます。桜島が風を遮ってくれるからです。風さえなければ、南国鹿児島の日差しは、海から上がったダイバーを優しく暖めてくれるのです。

水温は20℃を切り、冷たさが体にこたえますが、透明度の上った海中はすこぶる気持ちよく、いつもより明るい海底をゆっくりと散歩します。この季節に現れる小さなエビを探して、私はイソギンチャクを一つ一つ覗き込んでいきました。

いました。砂底に触手をいっぱい伸ばしたシマキッカイソギンチャクの上に、3cmほどのイソギンチャクエビのメスが鎮座しています。体の白い斑紋だけがはっきり見えますが、それ以外の部分は透明です。眼を凝らしてよく見ると、彼女の胃袋はゆっくりと動いて食物を消化し、卵巣の中の熟した卵も全て見えています。人間の体もこんなに透明だと、その日何を食べたか、お通じはあるか、病気はないか、すぐにわかってしまいそうです……。

彼女の御馳走は、魚についた寄生虫や、汚れです。彼女のもとには体を綺麗にしてもらおうと魚達が集まります。彼女は魚達にとって掃除屋さんであり、お医者さんでもあるのです。まわりを見回すと、私がこの場を離れるのを待っている魚達が、こちらを迷惑そうに見ています。冬の間、期間限定で開業する海底のクリニックに魚達は足しげく通うのです。



シマキッカイソギンチャクの上に暮らすイソギンチャクエビ。
錦江湾では冬から春にかけて見られる。

TOPICS

消防訓練を実施

鹿児島大学病院のある桜ヶ丘キャンパスでは、毎年2回の消防訓練を実施しています。昼間の火災を想定した訓練は約300名の教職員及び学生が参加し、患者さんにも協力をお願いする大規模なもので、今年度は平成21年7月30日に鹿児島南消防署脇田分遣隊の協力ではしご車や放水車も出動して実施されました。病院スタッフは患者さんの安全確保を第一に、通報訓練、消火訓練、避難・誘導訓練、救助訓練などの総合訓練に参加しました。また、11月13日には夜間の火災を想定した訓練も実施し、参加者は訓練の重要性を認識していました。



イルミネーション点灯

11月30日夕方、病院医科診療棟1階玄関前に美しいブルー&ホワイトのイルミネーションが点灯しました。これは、財団法人親和会より患者さんへの癒しの光として提供されたもので、この冬はより多くの病棟の患者さんが見ることができるようにと、高さが10m以上もある大木の先端にシンボルの青い星が輝いています。このイルミネーションは1月中旬まで、毎日午後5時30分から午後10時30分まで点灯されます。



広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気について的一般知識など知りたいことがありましたら、お知らせください。
また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈16号〉

2010(平成22)年1月発行
発行／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>